

モバイルバックホールの開通と検証

MT1100A ネットワークマスタ フレックス



シンクロナスイーサネットは、主にモバイルバックホールネットワークで使用されるテクノロジーです。シンクロナスイーサネットにおける障害は、モバイルネットワークの性能に深刻な悪影響を与え、システムダウンタイムの原因となります。そのため、モバイルオペレータは、シンクロナスイーサネットが正しく機能していることを検証する必要があります。ネットワークマスタ フレックス MT1100Aのシンクロナスイーサネット試験機能は、SyncE (ITU-T G.826x)、およびPTP (IEEE 1588 v2)の試験と解析ができます。MT1100Aは、シンクロナスイーサネット上の問題の特定と解決に有効なツールとして使用でき、システムのダウンタイムと顧客クレームを削減し、モバイルオペレータの運用コストの改善に貢献します。

MT1100Aは、既存の100Mbps/1Gbpsから10Gbpsまでのビットレートに対応し、現在のモバイルバックホールに必要な同期イーサネット評価をサポートします。

MT1100Aは、従来から最新までの通信ネットワーク技術に1台で対応します。

用途に合わせた3種類のモジュールのうち、2つのモジュールを同時に実装、動作でき、1.5Mbpsから100Gbpsの通信ネットワークや伝送装置の研究・開発、製造、開通・保守での伝送試験を1台でサポートします。12.1インチの大型カラー液晶、見やすく分かりやすい画面表示や、タッチパネルによる操作、遠隔地からのインターネットを經由しての操作（リモートGUI機能）などの多彩な機能を備え、検証作業の効率向上に貢献します。



主な特長

- オールインワンのトランスポートテスト
 - 1.5Mbpsから100Gbpsまでサポート
 - OTN、イーサネット、CPRI/OBSAI、ファイバチャネル、SDH/SONET、PDH/DSn
- OTN試験（イーサネット、CPRI、ファイバチャネル、SDH/SONETクライアント信号）
- 使いやすく分かりやすいGUIメニュー
- 全レートにおいて最大4ポート同時測定
- CAUI、XLAUI電気インタフェース（エクステンダオプション使用）
- WLAN*/Bluetooth*/LANとの接続
- 試験結果をPDF、CSV、XMLでレポート生成
- リモートGUI操作（VNC、専用GUI操作ソフト）
- リモートコマンド操作（スクリプト、イーサネット、WLAN、GPIB）
- 持ち運びが容易な可搬設計
- 最大の投資効果を可能とするモジュール型プラットフォーム

主なアプリケーション

- 同期イーサネット試験および解析（10Gbpsまで）
 - SyncE (ITU-T G.826x)
 - PTP (IEEE 1588 v2)
 - G.8265.1、IEEE 1588 v2 profile for telecommunication
- 同期イーサネットを含むイーサネット評価（10Gbpsまで）
 - 10Gbps、1Gbps、100Mbps、および10Mbpsでのイーサネット試験
 - イーサネットサービス開通試験（Y.1564）
 - RFC 2544自動試験（スループット、フレームロス、レイテンシ、パケットジッタ、バースタビリティ）
 - BER試験（フレームロス、シーケンスエラー試験を含む）
 - サービス断時間測定
- イベントログ
- VIPによる光ファイバ端面チェック

*：米国、カナダ、日本、全EU加盟国を含む、認定を受けた国・地域で利用可能です。最新情報については、アンリツにお問い合わせください。



IEEE 1588 v2状態表示



IEEE 1588 v2統計カウンタ

試験モジュール

- 10G マルチレートモジュール MU110010A
 - 最大2ポート：1.5Mbps～10Gbps（SFP/SFP+、RJ45、BNC、RJ48、バンタム）



*：同期イーサネット対応（10Gbpsまで）

- 100G マルチレートモジュール MU110011A
 - 最大1ポート：40Gbps（CFP）、100Gbps（CFP）
 - 最大2ポート：10Mbps～40Gbps（QSFP+、SFP/SFP+、RJ45）



*：同期イーサネット対応（10Gbpsまで）

- 40/100G モジュール MU110012A
 - 最大2ポート：40Gbps～100Gbps（CXP、QSFP+）



Bluetooth®ワードマークとロゴは、Bluetooth SIG, Inc.の所有であり、アンリツはライセンスに基づきこのマークを使用しています。